

展示会等への出展について（報告）

平成 21 年 3 月 10 日（火）

環境省総合環境政策局

環境研究技術室

1. これまでの経緯

環境技術実証事業ではこれまで、毎年 12 月に開催されるエコプロダクツ展（東京・お台場）に出展してきたが、実証参加企業である出展企業から、

- ・一般の参加者が多く、技術分野や実証事業への関心は高まるが、環境機器メーカーや技術ユーザーの参加が少なく、商談に結びつかない。
- ・地方で実証を行っている例も多数あることから、地域の企業・公的機関への売り込みを図るべき。

との意見が多く寄せられたため、平成 20 年度は、下記の条件を満たす展示会等への出展を行った。

- ・実証事業の分野に該当する特定の産業技術展
- ・実証結果の活用が期待できる地域の産業技術展
- ・業界関係者が集まる場での展示 等

2. 今年度の出展状況

1. を踏まえ、平成 20 年度は以下の産業技術展等に出展した。

- (1) 「2008 NEW 環境展大阪」【平成 20 年 9 月 18 日（木）～20 日（土）：大阪市】
実証事業より 6 分野：16 企業が出展
会場入場者：約 48,000 人
- (2) 「エコビルド 2008」【平成 20 年 10 月 1 日（水）～3 日（金）：東京都】
実証事業より 1 分野（ヒートアイランド対策分野）：9 企業が出展
会場入場者：約 10,000 人
- (3) 「2008 洗浄総合展」【平成 20 年 10 月 1 日（水）～3 日（金）：東京都】
実証事業より 1 分野（VOC 処理技術分野）：3 企業が出展
会場入場者：約 40,000 人
- (4) 「びわ湖環境ビジネスミッセ 2008」【平成 20 年 11 月 5 日（水）～7 日（金）：滋賀県】
実証事業より 3 分野（有機性排水・湖沼・閉鎖系海域分野）：4 企業が出展
会場入場者：約 36,000 人

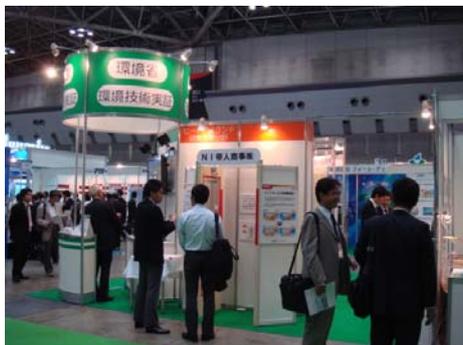
さらに、これら既存の展示会に加え、技術ユーザーの集まる機会が少ない山岳トイレ技術分野では、実証技術や海外事例の報告・議論と実証参加企業

等のパネル展示を同時に行う技術セミナーを開催した。

- (5)「山岳トイレ技術セミナー」【平成21年2月19日(木)、20日(金):東京都】
実証事業より1分野:5企業、5実証場所(山小屋等)、1団体が出展
会場入場者:約200名



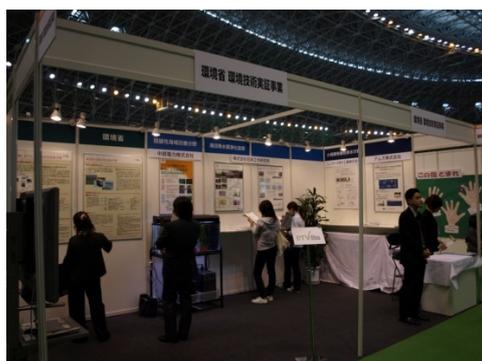
(1) 2008NEW 環境展大阪



(2) エコビルド2008



(3) 2008 総合洗浄展



(4) びわ湖環境ビジネスメッセ2008



(5) 山岳トイレ技術セミナー

(後部が展示スペース)



(5) 山岳トイレ技術セミナー

(展示スペースでの交流)

3. 総括

- ・ 地方では環境技術実証事業の認知度が低いものの、環境省事業であることや実機の展示等により来場者の関心が高く、反応は概ね良好であった。
- ・ ただし、個別の技術分野で既存の展示会に出展する場合、出展ブースが小さくなり、集客が見込める場所の確保が難しくなる。このため、早期に出展希望の意向を把握し、集客の臨める大きなブースとすることが望ましい。
- ・ 山岳トイレ技術セミナーでは、既存の展示会では集まりにくい技術ユーザーと実証参加企業、山小屋等の実証参加者が直接対話できる機会を設けることができた。このような、セミナーと展示を組み合わせたような取組についても、今後、分野ごとに推進していくべきと思われる。